



〒 915-0823
福井県越前市本町 10-2
大 寶 寺
TEL/FAX (0778) 22-1682

昨年末は思いもよらぬ大雪で、屋根雪降ろしなど大変な思いをなされた所もあるようで、心よりお見舞申し上げます。

十一月末に雪吊り・雪囲いをしていただいたこともあり、当寺では玄関脇の栗の木の枝が折れた程度で、無事に今冬も越せそうです。

久しぶりの根雪は現在五十センチほど残っていて、融雪装置の設置がいきわたった市内の道路から、大寶寺の境内に入ると、雪の多さに驚く来客が少なからずおられます。しかしながら、日差しの強さと共に雪が消え露出した地面

が、日に日に広がって行くのは決して気のせいではなく、確実に春が近づいていることを実感します。

さて、来る三月四、五日と當山にて御忌会を勤めます。今年は若狭高浜の浄国寺の佐野純雄上人のご布教をいただきます。また、三月二十一日には恒例の水吹き地藏尊のお祭りも予定されています。

おさそい合わせてご参詣頂きますよう御案内致します。

大寶寺 御忌法要日程

三月 四日(土)
午後二時 開白法要
〃 三時 説教

三月 五日(日)
午前十時 日中法要
〃 十一時 説教

昼 食 終了

知恩院布教師

若狭 浄国寺

佐野純雄 上人

御忌(ぎよき)会とは?

宗祖法然上人は、建暦二年(一一二二)

正月二十五日

に亡くなられました。上人

のご遺徳をしのんで、全国各地の浄土宗寺院で御忌会が勤められます。



もともと「御忌」という言葉は天皇や皇后の忌日に勤められる法要のことでしたが、大永四年(一一五二四年)後柏原天皇が知恩院第二十五世超誉存牛上人に「知恩院は浄土宗の根本道場であり、宗祖入滅の霊跡であるから、毎年七日間、ここで御忌を勤めよ」という「大永の御忌鳳詔」を出していられた法然上人の御忌法要を特に「御忌」と呼ぶようになりました。

このことから、法然上人お念仏の教えがいかに、広い信仰を集め、また、尊ばれていたかを知ることができます。

総本山知恩院では寒さをさげ四月十八日から二十五日にかけて御忌会が勤められます。上人が亡くなる直前、正月二十三日にお示しになられた一枚起請文を拝読し上人の徳を忍ぶという厳かな法要です。

また、京都、金戒光明寺においては、四月二十二日から二十五日にかけて御忌がいとなまれますが、二十三日には法然上人ご真筆の一枚起請文が日中法要の中で披露されるそうです。

大寶寺の御忌会とともに、ご参拝いただいてはいかがでしょうか。



御真筆一枚起請文 金戒光明寺蔵 一休宗純・千利休から、西田天香・高村光太郎・柳宗悦・倉田百三・藤吉慈海、現代においては梅原猛・町田宗鳳など、古今の著名人たちが『一枚起請文』を名文として讃えています。

トピックス

佛名会

十二月十七、十八日

寒波が襲来する中、本堂の屋根から落ちた雪を除雪して、浄焚会を勤めました。

大晦日 除夜の鐘

十二月三十一日

今年は久しぶりに雪の中で除夜



屋根から落ちた雪か、上に上ればヒサシに手が届くほどつもりでした。 H18. 1. 3

の鐘をつきました。雪が多かったせいか、ご参詣の人数は例年より少なかったようです。

護寺費、墓地管理費

秋初穂のお支払いについて

以前より案内の通り本年度より、護持費、墓地管理費を新たに、また秋初穂は自発的なご寄付として御願いくことにいたしました。別紙にて、その主旨をお知らせしておりますが、お支払いの方法につきましてはいくつかの方法がございます。

一、世話方を通じてお支払いいただく。

二、都合の良いおりに、寺まで

持参していただく。

三、棚経など寺が出向いたとき、また、連絡を頂いて寺が頂きに行く。

四、郵便振込を利用して納めていただく。

初めてのことで、不手際があるかも知れませんが檀信徒の皆さまには、なにとぞ御協力のほど、よろしく御願いたします。

また、お支払いは八月末日を目処に考えております。

正月「元旦」

降り続いた雪やみぞれが元旦は晴れあがりました。スコップで雪かきをして、ご家族そろってお墓にお詣りする姿が見受けられました。



お年頭

一月一、二、三、四日



元旦は市内、一日、三日は各地区のお檀家さまが寺にお年頭にお見えになりました。また、四日には副住職と長男が町内を回礼しました。

知多半島、大寶寺参拝

一月二十二、三日

栗田部の井筒憲史さんの企画で、知多半島ある通称、「もくれん茶屋」曹洞宗大寶寺に参拝しました。八十歳の瑞法尼のきさくな法話を聞いたあと、イチゴがりなどをして楽しい一時を過ごしました。



御案内

お問い合わせ、申込は寺まで

ブディスト フェスタ in サカイ 2006

児童虐待、いじめ、親子殺し、引きこもり、ニートなどたくさんの問題をかかえる今、親としてどのように生きればよいかを考える。

主催 浄土宗福井教区坂井組

日時 3月12日(日)午後1時30分~5時

場所 みくに文化未来館

参加費 お一人 1,000円

基調講演 矢野正人氏 福井テレビ営業局長

「仮定放火の世代と教育について」

落語 桂七福師匠

「気づけば変わる親子のコミュニケーション」

中国浄土教七高祖ゆかりの地巡拝

兵馬俑、中国浄土教ゆかりの香積寺、草堂寺、石壁山玄中寺、天竜山石窟、上海美術館などを訪問。主催 浄土宗福井教区

日時 5月18日(木)~25日(木)

行程 小松発、敦煌、西安、太原、上海

参加費用 24,000円
申込〆切 3月1日

